



# U44

USB2.0 High-Speed

大型ディスプレイ付きのソフトウェア制御の4x4 オーディオインターフェース。

U44 は、ライブ、カラオケ、スタジオでのパフォーマンスに役立つ機能満載の、使いやすいソフトウェア制御のオーディオインターフェースです。優れたサウンドのプリアンプに加えて、U44 は素晴らしい AD/DA 変換率（アナログからデジタルへの変換 122dB / デジタルからアナログへの変換 127dB）を誇り、2つの Neutrik® Combo XLR マイク / ラインインコネクタと、1/4 インチ (6.35mm) ジャックのライン / インストゥルメント入力 2 つを備えています。

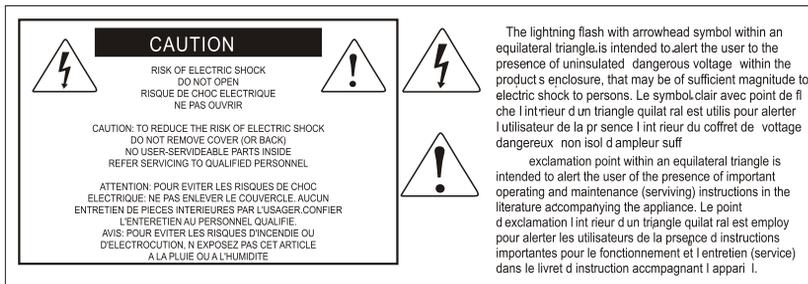
明るくて見やすい7インチ TFT ディスプレイのパラメータは、iCON の革新的な iO Pro ソフトウェアを使って調整できます。「設定して忘れる」もしくは好きなだけ調整できます！ 物理的なノブやボタン、フェーダーの設定を覚えておく必要はありません - すべての設定を iO Pro で「スナップショット」として保存できます！

すべての利便さ。すべての機能。煩わしさをなし！



User manual





## 重要な安全上のご注意

- このユニットを使用する前に、このマニュアルを十分にお読みください。
- このマニュアルは将来の参考のために保管してください。
- ユーザーマニュアルに記載されている、または機器に表示されているすべての警告に注意し、遵守してください。
- このマニュアルに記載されているすべての指示に従ってください。
- このユニットを雨や湿気にさらさないでください。水や他の液体がこのユニットにこぼれないように注意してください。
- キャビネットやその他の部分を清掃する場合は、乾いたまたは少し湿らせた柔らかい布のみを使用してください。
- 換気口を塞いだり、このユニットの適切な換気を妨げたりしないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
- ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の熱を発生する機器の近くで使用または保管しないでください。
- 極性プラグまたは接地プラグの安全目的を妨げないでください。極性プラグには、一方が他方より広い2つの刃があります。接地プラグには2つの刃と3番目の接地用ピンがあります。これらはあなたの安全のために設計されています。提供されたプラグがコンセントに合わない場合は、電気技師に相談してください。
- 電源コードが踏まれたり、その上や近くに置かれた物によって損傷を受けないように保護してください。プラグ、コンセント、コードが機器から出る部分に特に注意を払ってください。
- 感電の危険を避けるため、ユニットが作動中に露出した配線に触れないでください。
- メーカーが指定した付属品 / アクセサリーのみを使用してください。
- 雷雨時や長期間使用しない場合は、このユニットとすべての接続された電気機器のプラグを抜いてください。
- すべての修理は資格のあるサービス担当者に依頼してください。機器が何らかの方法で損傷した場合や正常に動作しない場合は、修理が必要です。

**WARNING: To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this unit to rain or moisture**

# 目次

はじめに .....	4
パッケージ内容.....	4
ICON Pro Audio 製品を User Center に登録する 5 .....	5
機能 パート 1 .....	6
機能 パート 2.....	8
上面パネル（ディスプレイ画面） .....	10
背面パネル.....	12
前面パネル.....	14
ハードウェア接続 .....	15
TRS、TS、XLR 接続.....	16
マイク接続方法の種類別図解 .....	19
UNI OTG 接続.....	20
U44 のインストール .....	22
iO Pro でのデバイス使用 .....	24
仕様 .....	25
サービス .....	26

## はじめに

まず最初に、U44 オーディオインターフェースのご購入、おめでとうございます！このページでは、U44 の機能の詳細な説明とともに、上部、前面、背面パネルのガイドツアー、設定と使用方法のステップバイステップの指示、完全な仕様リストをご覧ください。

ほとんどの電子機器と同様に、元の梱包材を保管しておくことを強くお勧めします。万が一、製品が修理のために返送される場合、元の梱包材(またはそれに相当するもの)が必要です。適切なケアと十分な通気により、U44 は今後何年も問題なく動作します。

この製品が長年にわたって優れたサービスを提供することを確信しており、万が一、製品が最高の基準で動作しない場合でも、問題解決に向けて最善を尽くします。

## パッケージの内容は何ですか？

- U44 オーディオインターフェース
- クイックスタートガイド x 1
- USB 2.0 ケーブル (Type-C から Type-A) x 1
- 電源アダプター (12V DC)



# ICON Pro Audio 製品をユーザーセンターに登録してください

## 1. デバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> にアクセスするか、下の QR コードをスキャンしてください。



デバイスのシリアル番号と画面上のその他の情報を入力します。「送信」をクリックします。

メッセージがポップアップし、デバイス情報（モデル名やシリアル番号）が表示されます。「このデバイスを私のアカウントに登録する」をクリックします。別のメッセージが表示された場合は、アフターサービスチームにご連絡ください。

## 2. 既存のユーザーは個人のユーザーセンターにログインするか、新しいユーザーとしてサインアップしてください。

既存のユーザー：ユーザー名とパスワードを入力して、個人のユーザーセンターにログインしてください。

新しいユーザー：'サインアップ'をクリックし、すべての情報を入力してください。

## 3. 役立つすべての資料をダウンロード

あなたのアカウントに登録されているすべてのデバイスがページに表示されます。各製品は、ドライバー、ファームウェア、さまざまな言語のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなど、ダウンロードできるすべての利用可能なファイルとともにリストされます。

# 機能 パート 1

U44 エクスペリエンスへようこそ! スタジオオーナー、ライブパフォーマー、カラオケ愛好者であっても、U44 はあなたのニーズに応えます。

U44 の主な特徴は、大きなディスプレイ画面と、ノブ、スイッチ、フェーダー、ダイヤルがないことです。すべては iCON iO Pro ソフトウェアで制御されます。

iCON iO Pro は、iCON Pro Audio インターフェース専用に設計された高度なバーチャルミキサーおよびプラグインホストです。コンピューターの究極のオーディオコントロールセンターとして、このソフトウェアはシステム全体のオーディオをシームレスに管理し、DAW なしでプラグインを使用し、お気に入りのプラグインチェーンをプリセットとして保存して迅速にアクセスできます。

ポッドキャスト、ストリーミング、録音、ライブパフォーマンスのいずれの場合でも、iO Pro はプロ品質の結果を簡単に達成できるようにします。

iCON のエキスパートプログラマーによる長年の研究開発から生まれた iO Pro は、成熟した、安定した、そしてインテリジェントなソフトウェアソリューションです。DAW なしでのライブプラグイン使用、柔軟なチャンネルルーティング、ダイレクトモニタリング、プラグインサイドチェーンなどをサポートし、Windows および Mac ユーザーに卓越した価値を提供します。

127dB のデジタル - アナログ変換と 122dB のアナログ - デジタル変換を誇る U44 ハードウェアは、そのクラスおよび価格帯の類似デバイスを性能と機能の面で凌駕します。U44 は、専用のハイエンドコンバーターやプレミアムオーディオインターフェースデバイスに匹敵するオープンで自然なサウンドを提供します。

U44 の両側に便利に配置された 2 つのヘッドホン出力ソケットは、セッション中の録音やライブパフォーマンスやインターネット放送のモニタリング時に共同作業を容易にします。各ヘッドホン出力接続は最大 78dB のゲインを提供します。

U44 は、2 つの高品質なコンポ XLR マイク / ライン入力コネクタを備えており、XLR 接続と 1/4 インチジャックを 1 つのハウジングに組み合わせたものと、2 つの独立した 1/4 インチ (6.35mm) ライン入力があります。これらの 4 つのチャンネルそれぞれには、LCD ディスプレイ上に独自の表示セクションがあります。各マイク入力 は最大 62dB のゲインを提供します。

2 つの 1/4 インチ (6.35mm) バランス出力を備えた U44 は、アナログ I/O ニーズを管理するための十分なスコープを提供します。

UNI OTG USB-C コネクタポートを使用すると、ユーザーはインターネットストリーミングサービスに直接接続できます。これは、インターネットで配信を行うプロデューサー、エンジニア、アーティストにとって非常に便利です（OTG ケーブルと Apple カメラキットが必要です）。

UNI OTG は、iCON 独自の高度で特別にコーディングされた OTG 接続方法です。

内部では、超高速で信頼性の高い ARM-M7/500MHz チップが使用されており、極めて安定した信号処理を実現しています。このチップは 2 つ使用されており、1 つは UNI OTG 接続用（超安定な接続と高音質を提供）、もう 1 つはコンピューターへの USB-C 接続用です。

高品質な 7 インチフルカラー TFT ディスプレイがデバイスの上部に配置されており、カラフルで読みやすく反応の良い 17 セグメントメーターインジケータや、楽器 / マイク / ラインおよび +48V ファンタム電源インジケータを備えています。デジタルポテンシオメータを使用すると、iCON の iO Pro ソフトウェアを介してゲインなどのパラメータを制御でき、明るく読みやすい U44 ディスプレイに変更が反映されます。

iO Pro でフェーダー、ボタン、ダイヤルを操作して、U44 のディスプレイおよびデバイス自体に変更を加えます。

LCD ディスプレイには、すべてのチャンネルの dB 入力 / 出力レベルが半円形のインジケータ内に表示されます。iO Pro ソフトウェアで MUTE が選択された場合、該当するチャンネル位置の dB 値の代わりにディスプレイに表示されます。

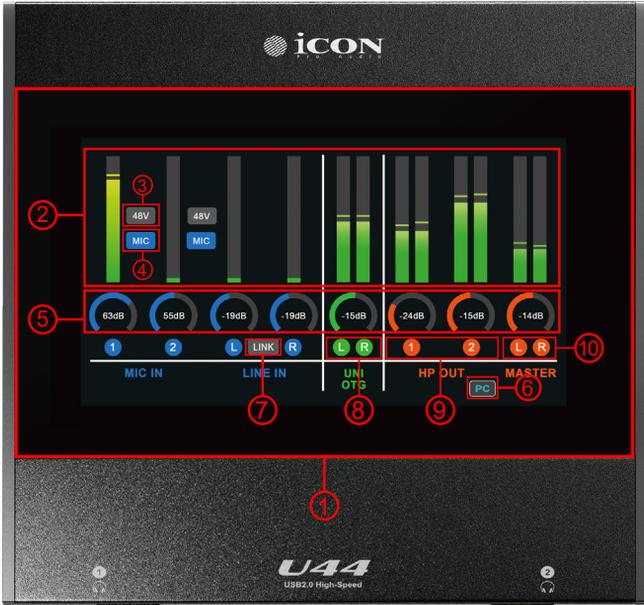
チャンネル 1 と 2 の間にダイレクトモニタリングインジケータがあり、チャンネル 3 と 4 には LINK 機能があります（そのインジケータはこれらのチャンネルの間にあります）。これにより、ユーザーは両方のライン入力チャンネルを一緒に使用できます（つまり、両方のチャンネルに均等に入力ゲインを適用します）。

Mic In 1+2、Line In 3+4、UNI OTG、ヘッドフォン 1+2、および Master Out セクションは、視覚的に簡単に参照できるよう色分けされています。

iO Pro ソフトウェアを有効にするには、コンピューターに接続する必要があります。U44 はこのソフトウェアを介して制御されます。これは、物理的にフェーダー、ノブ、ボタンと対話するのではなく、コンピューターを介して必要な変更をすべて行いたいエンジニアやスタジオオーナー

## 機能 パート 2

24ビット 192kHz 4 イン 4 アウトアナログオーディオインターフェース  
ソフトウェア制御  
62dB のゲインを持つ高解像度アナログマイクプリアンプ  
優れた音質  
デジタル→アナログ変換: 127 dB  
アナログ→デジタル変換: 122 dB  
高品質な 7 インチフルカラー TFT ディスプレイ  
iCON iO Pro ソフトウェアを使用して調整可能  
2 つの高品質なコンボ XLR 入力 (バランス) および 1/4 インチ (6.35mm) ジャック  
(非バランス) を備えたマイク、ライン、または楽器用  
2 つのアナログ出力 1/4 インチ (6.35mm) ジャック (バランス)  
高視認性のデジタルメータリングおよび dB データ表示  
+48V ファントム電源 (iO Pro でオン / オフ制御)  
マイク / インスト / ライン入力オプション (iO Pro のボタン)  
入力チャンネルのミュートオプション (iO Pro で制御)  
入力チャンネルをリンクする機能 (iO Pro で制御)  
2 つの 1/4 インチ (6.35mm) ヘッドフォン出力、個別のデジタルボリュームコント  
ロール (iO Pro で制御)  
ダイレクトモニタリング可能 (iO Pro で切り替え可能)  
UNI OTG 接続、高いダイナミックレンジと非常に安定したパフォーマンス  
PC/Mac 接続用 USB-C コネクタ  
iCON iO Pro を通じてライブコンテキストでプラグインコンプレッサー、リバーブな  
どを使用可能  
異なるモニタリング設定間を切り替える機能  
Mac および Windows プラットフォーム用 iCON iO Pro でループバック機能可能  
MacOS 10.15 以上、Windows 10 以上に対応  
+12V DC 電源接続端子が付属  
ARM-M7/500MHz 処理能力  
高品質 ARM Codec A7 プロセッサにより、優れたタッチスクリーン機能を実現  
USB 2.0 真の高速  
Direct Sound、WDM、ASIO 2.0 をサポート  
頑丈で高品質な構造



# 上面パネル（ディスプレイ画面）

すべてのパラメーターの調整は、iCON の iO Pro ソフトウェアを通じて行います。  
必ず、iO Pro ソフトウェアが正常にダウンロードおよびインストールされていることを確認してください。（Windows ユーザーは、ASIO ドライバーもインストールされていることを確認してください。これには iO Pro インストーラーを使用します。）

## 1. TFT ディスプレイ

高品質でフルカラーの広角ビュー LCD ディスプレイ（複数の方向から見るができます）。

## 2. メーター

17 セグメントの明るくクリアなメーターで、入力 1 4、UNI OTG 出力、ヘッドフォン 1 および 2、そしてマスター出力を表示。

## 3. +48V ファンタム電源ボタン

関連する XLR 入力に +48V ファンタム電源を供給するために押します。このファンタム電源回路は、ほとんどのコンデンサーマイクに適しています。ボタンは iO Pro ソフトウェアからアクセスできます。

## 4. 入力選択ボタン（チャンネル 1+2）

このボタンを使用して、iO Pro で以下のオプションを選択します：

マイク (Mic) : XLR 接続。

ライン (Line) : 1/4 インチ (6.35mm) 接続。

インストールメント (Inst) : 1/4 インチ (6.35mm) 接続。

## 5. 入力 / 出力ゲインの仮想ノブ

マイク入力チャンネル 1-2、ライン入力チャンネル 3-4、UNI OTG 出力ゲイン、ヘッドフォン出力ゲイン、マスター出力ゲインの入力および出力ゲインレベルは、iO Pro ソフトウェアを使用して、仮想ノブを時計回りまたは反時計回りに回すことで調整できます。

## 6. PC/Dir 表示

このボタンは、デバイスがダイレクトモニターモード (DIR) にあるか、信号が通常通りコンピュータを通過し、関連する処理が有効になっている (PC) かを示します。ユーザーは、iO Pro ソフトウェアのモニタリングウィンドウに移動し、必要に応じてダイレクトモニタリングを選択する必要があります。これはチャンネル 1 と 2 (マイク入力) で利用可能です。

## 7. リンクボタン

このボタンを押すと、関連する 2 つのフェーダーがリンクされ、同時に動作します。2 つのチャンネルが「スナップ」して一緒になり、同じ量のゲインが両方に適用されます（ユーザーが適用する量に応じて）。

## 8. UNI OTG コントロール

この仮想ノブは、UNI OTG チャンネルに供給されるゲインの量を制御します。

## 9. ヘッドフォン音量コントロール

1/4 インチ (6.35mm) のジャックソケットに 1 組または 2 組のステレオヘッドフォンを接続し、これらのノブで音量を調整します。

## 10. マスターノブ

この仮想ノブは、メイン出力の音量を制御します。

### 「Line in」と「Instrument Inputs」の違いについての簡単な説明

「Line in」と「Instrument in」は、オーディオインターフェースに見られる 2 種類の入力であり、受信できる信号の種類が異なります。

「Line in」入力は、ラインレベルの信号を受信するように設計されています。これは、事前に増幅され、インストゥルメントレベルの信号よりも高い電圧を持つ信号です。ラインレベルの信号は、ミキサー、CD プレーヤー、またはその他のオーディオ再生デバイスなどのソースで一般的に使用されます。「Line in」入力は通常、TRS (Tip-Ring-Sleeve) コネクタを受け入れるバランス入力です。

一方、「Instrument」入力は、より低いインストゥルメントレベルの信号を受信するように設計されています。この種の信号は、ギター、ベース、キーボード、その他の電子楽器などの楽器によって生成されます。インストゥルメントレベルの信号は通常、アンバランスであり、信号線とグラウンド線の 2 本の線を持っています。「Instrument」入力は通常、TS (Tip-Sleeve) コネクタを受け入れるアンバランス入力です。

一般的なルールとして、外部デバイスを接続する際には、入力と出力の音量を低く設定することが推奨されます。これは、耳の安全と機器の保護のためです（フィードバックや予期しない干渉を防ぐため）。

# リアパネル



## 1. 電源スイッチ

## 2. 電源コネクタ

U44 に電力を供給するには、+12V DC 電源アダプターが必要です（付属）。  
（注：交換用の電源アダプターは、お近くの ICON ディストリビューター / デイラーまたは [support.iconproaudio.com](http://support.iconproaudio.com) からの特別注文で購入できます）。

## 3. USB コネクタ（Type-C）

このポートを付属の USB ケーブル（Type-C）で Mac または PC に接続します。

## 4. UNI OTG

この USB-C UNI OTG ポートを使用すると、スマートデバイスを接続できます（OTG ケーブル / アダプターと Apple カメラキットが必要です）。接続は非常に高いダイナミックレンジを持ち、極めて安定しています（20 ページの「UNI-OTG 接続」を参照してください）。

## 5. Line Out 出力

これらは 1/4 インチ（6.35mm）TRS コネクタのバランスドアナログ出力です。これらの出力は通常、モニターに接続されます。最良の結果を得るには、TRS ケーブル（バランスド）を使用してください。

## 6. Line In 入力 3+4

これらは標準の 1/4 インチ（6.35mm）TRS コネクタのバランスドアナログ入力です。

## 7. マイク、ライン、または楽器用の 1/4 インチ TRS ジャックを備えた 2 x Neutrik Combo XLR

これらはアンバランスド楽器 / ライン入力とバランスドマイクレベル入力で、U44 のプリアンプに接続されています。これらのハイブリッドコネクタは、標準の 3 ピン XLR プラグまたは 1/4 インチ (6.35mm) TRS または TS コネクタを受け入れます。内側の 1/4 インチコネクタはラインおよび楽器入力用で、XLR はマイク用です。LINE 入力には TRS ケーブル (バランスド) を使用してください。楽器には TS ケーブル (アンバランスド) を使用できます (TRS ケーブルも使用できますが、TS ケーブルと同じようにアンバランスドになります)、INST が選択されている場合。

エレキギターなどの楽器を使用する場合は INST を選択し、ドラムマシンやプリアンプなどの外部機器を接続する場合は LINE を選択してください。

# フロントパネル



## 1. ヘッドホン出力

これらの出力ジャックは、標準の 1/4 インチ (6.35mm) ステレオ TRS ヘッドホンコネクターを受け入れます。

# ハードウェア接続

U44 の出力をアンプ、パワードモニター、またはサラウンドシステムに接続します。

ヘッドホンでモニタリングする場合は、ヘッドホンをデバイスのヘッドホン出力に接続します。ヘッドホンを装着する前に、音量を下げるかゼロにしてください。

マイク、楽器、またはその他のラインレベルのアナログソースをデバイスのアナログ入力に接続します。ファントム電源を必要としないマイクの場合、+48V スイッチがオフになっていることを確認してください。デバイスを接続する際はヘッドホンを装着せず、すべての入力および出力音量（すべてのデバイス）を低レベルまたはゼロに設定してください。

## Connect your MIDI device to the MIDI I/O



## Connect OTG devices via Mobile Out (Digital)



## Connect to a Microphone or instrument



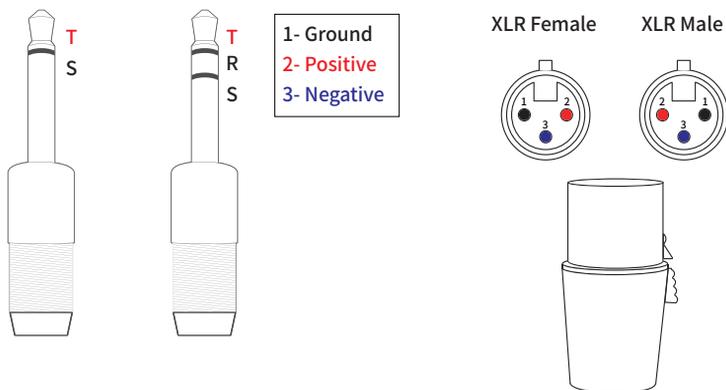
# TRS、TS、XLR 接続

U44 デバイスのライン出力はバランス接続です。これらの接続には TRS (バランス) ケーブルを使用する必要があります。1/4 インチ (6.35mm) の TRS (バランス) ケーブルと TS (アンバランス) ケーブルは、外観で区別できます。

TS ケーブルには2つの接点があります: ティップ(T)とスリーブ(S)です(下図参照)。これらのケーブルは通常、エレキギターなどのモノラルおよびアンバランス信号に使用されます。

TRS ケーブルには、追加の層であるリングがあります。3つの導体があります: ティップ (T)、リング (R)、スリーブ (S) です。

TRS ケーブルはバランスモノ信号を送送できます。これらは、ノイズ低減と干渉除去が重要なプロフェッショナルオーディオセットアップに不可欠です。TRS ケーブルは、ヘッドホンや追加の外部機器からのオーディオインターフェースへの接続などのステレオ信号も処理できます。



外部スピーカー / モニターを 1/4 インチ (6.35mm) TRS ケーブルで LINE OUT ポートに接続するのが一般的です。これらの接続は、1/4 インチ (6.35mm) TS ケーブルと比較して干渉が最も少ないためです。アクティブ / 非アクティブモニターを TS (アンバランス) ケーブルでオーディオインターフェースに接続したことがある場合、時折明らかな干渉が聞こえることがあります。TS ケーブルを TRS ケーブルに交換すると、この干渉を解消または大幅に軽減できます。

前述のように、TRS ケーブルはステレオ接続も可能ですが、TS ケーブルはモノ接続のみ可能です。そのため、外部プリアンプ、チャンネルストリップ、CD プレーヤー、ドラムマシンなどをインターフェースに接続する際に最適な選択肢です。

このため、2つの1/4インチ（6.35mm）LINE入力のいずれかを選択します。これは通常、最も好ましく、簡単な選択肢です。

または、XLR/1/4インチ（6.35mm）コンボ入力の1/4インチ（6.35mm）LINE入力セクションを使用することもできます。iO Proを介してLINE入りに切り替えます。LINEを選択すると、1/4インチ（6.35mm）コネクタを使用する際に、デバイスに適した入力レベルを提供します。

外部デバイスを（電源を切った状態で）TRS to TRS接続（1/4インチ（6.35mm）コネクタ）を使用して接続するか、または可能であればXLR to TRS 1/4インチコネクタを使用します（オーディオインターフェースのTRSコネクタと外部機器のXLRコネクタを使用）。+48Vファンタム電源はXLR接続のみを通過するため、XLR/1/4インチ（6.35mm）コンボ入力を使用する場合、TRS接続は安全です。

マイクがファンタム電源を必要とし、プリアンプなどの外部機器をインターフェースに接続している場合、U44のXLR/1/4インチ（6.35mm）コンボ入力を使用して接続する場合は、常に外部機器のファンタム電源（+48V）を使用してください（専用のLINE入力を使用する場合、これは関係ありません。これらの入力はファンタム電源を供給しません）。

コンボ入力でLINE接続を使用する場合、外部機器がTRSケーブルを使用してNeutrikコンボ入力の1/4インチ（6.35mm）部分（または1/4インチ（6.35mm）LINE入力）に接続されていることを確認すれば、+48Vが誤って選択されても、ファンタム電源は安全にバイパスされます。

アドバイスは、外部デバイス（プリアンプなど）をXLR-XLR接続を使用してオーディオインターフェースに接続しないことです。これは最初は良いアイデアのように思えるかもしれませんが（XLR接続はバランス接続であるため）、オーディオインターフェースで+48Vファンタム電源が誤ってアクティブになると、XLR接続を通じて不要な追加電力が送信され、インターフェースデバイスやプリアンプに損傷を与える可能性があります（特にプリアンプに+48Vファンタム電源が既にアクティブになっている場合）。同様に、ファンタム電源の有無に関わらず、接続された機器が予期しない48Vの電荷を受けると損傷する可能性があります。したがって、機器を接続する際の一般的なルールとして：

**1/4インチ（6.35mm）のLINE IN入力のみを使用します（+48Vファンタム電源なし）。**これは、これらの専用入力を備えたデバイスで一般的に受け入れられている方法です。TRSケーブルを使用して、干渉を大幅に減らすか排除します。

LINEを選択します。Neutrik XLR/1/4インチ（6.35mm）コンボ入力の1/4インチ（6.35mm）部分を、TRSバランスケーブルのみを使用して接続します（+48Vファンタム電源をバイパスします）。

**XLR-XLR接続は絶対に使用しないでください。**

XLR/1/4 インチ (6.35mm) コンボ入力を使用してチャンネルストリップなどの外部機器をオーディオインターフェースに接続し、ハイパスフィルターやコンプレッション、チューブシミュレーターを追加する場合、信号が2つのプリアンプを通過して不要な色付けが加わることを懸念するかもしれません。しかし、その影響は無視できる程度です。

楽器の接続には通常 TS ケーブル (アンバランス) を使用しますが、TRS ケーブルも使用可能です。INST を選択すると接続はアンバランス化されるため、TRS ケーブルを使用しても信号はアンバランスのままです。エレキギターなどを XLR/1/4 インチ コンボ入力に接続する際は、INST が選択されていることと入力ゲインが適切に低いことを必ず確認してください。

要約：

LINE デバイス (ドラムマシン、外部機器) : TRS ケーブルを使用。

外部機器が XLR 接続の場合 : XLR to TRS 1/4 インチケーブルを推奨 (外部機器側 XLR、インターフェース側 TRS)。または高品質の TRS-TRS ケーブルを使用。  
注 : これにより +48V ファンタム電源の誤作動を防止できます。

スピーカー / モニター : TRS ケーブルを使用。

楽器 : TS または TRS ケーブル (両方アンバランス)。

マイク : XLR ケーブルを使用。

重要：

プリアンプなどの外部機器に XLR ケーブルは絶対に使用しないでください。ファンタム電源 (+48V) が機器を損傷する可能性があります。

可能な限り外部機器には専用 LINE 入力を使用し、ファンタム電源のリスクを回避してください。

XLR/1/4 インチコンボ入力は、INST 未選択時はバランス接続、INST 選択時はアンバランス接続となります。

このセクションの情報を覚えておくことで、高額な修理代を防げるかもしれません！

## マイク接続方法の種類に関する図



**注意:** ダイナミックマイクを使用する場合、マイクを接続する前に +48V ファントム電源スイッチが「OFF」であることを確認してください。そうしないと、マイクが破損する恐れがあります。

# UNI OTG 接続



「OTG」接続は U44 を通じて利用できます。

「OTG」は「On-The-Go」の略です。これは、最新の多くのスマートフォンやタブレットに搭載されている機能です。OTG は、これらのデバイスが「ホスト」として動作できるようにし、さまざまな USB 周辺機器と接続し、相互作用することを可能にします。

「UNI」は、iCON 独自の OTG 接続方法で、新しい高度なコーディングを使用しています。

U44 の「UNI OTG」機能により、ユーザーはソーシャルメディアでの配信が可能となり、優れたオーディオ機能を活用できます。U44 の 2 つの ARM M7 チップのうちの 1 つと、新たに作成されたコーディングを使用して UNI OTG 接続を可能にし、非常に高いオーディオ品質と非常に安定した接続を実現します。

この機能を使用するには、特別な「OTG ケーブル」を使用する必要があります。標準的な USB ケーブルでは動作しません。OTG ケーブルには、モバイル電話コネクタに追加のピンがあり、デバイスが「ホスト」として機能することを可能にします。

1. スマートフォンやタブレットが OTG 機能をサポートしていることを確認してください。最新の Android デバイスのほとんどは OTG をサポートしていますが、デバイスの仕様やマニュアルで確認することをお勧めします。
2. OTG ケーブルを入手してください - Apple のカメラキットが接続に必要です。
3. U44 をオンにします。U44 を USB-C ポートを介して接続します。
4. OTG ケーブルのもう一方の端をスマートフォンやタブレットの充電ポートまたはデータポートに接続します。デバイスは自動的に U44 を認識するはずですが。
5. デバイスで選択したストリーミングまたは録音アプリケーションを起動します。
6. デバイスがオーディオを受信しているか確認します。U44 の出力音声を電話 / デバイスで聴くことができ、または出力信号を確認できるはずですが（使用しているアプリによります）。

7. 配信を開始します - U44 のオーディオ出力が配信に反映されます。

8. 配信が終了したら、U44 を安全に取り外してください。通常、デバイスの設定や通知パネルで「USB 周辺機器」を安全に取り外すオプションを見つけることができます。

上記の手順は、デバイスのメーカー、モデル、OS のバージョン、ストリーミングアプリによって若干異なる場合があります。また、すべてのスマートフォンやタブレットが OTG に対応しているわけではなく、特定のドライバが必要だったり、互換性に制限がある場合もあります。

OTG 接続を使用するには、Apple のカメラキットが必要です。

# U44 のインストール

U44 を Mac または Windows で機能させるには、iCON の iO Pro ソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。これは、デバイスのパラメーターを制御するためのものです。

デバイスをコンピューター（PC または Mac）に接続し、電源を入れたことを確認してください。iO Pro のインストールを開始する前に、安定したインターネット接続があることも確認してください。

インストール中、iO Pro はさまざまなドライバーをインストールします。例えば、Mac システム用のループバックドライバーなどです。Windows システムの場合、iO Pro はプロセスの最後に ASIO ドライバーのインストールをユーザーに促します。Windows ユーザーは ASIO ドライバーをインストールすることが不可欠です。

完全なインストール手順は、iO Pro マニュアルとデバイスのクイックスタートガイドに記載されています。

## 手順：

1. デバイスをコンピューターに接続します。
2. 電源が入っており、インターネットに接続されていることを確認します。
3. インストール手順をダウンロードして読んでください（クイックスタートガイドまたは iO Pro マニュアル）。
4. 予防措置として、サウンドモジュールなどの他の周辺機器をコンピューターから切断します。
5. iO Pro をダウンロードします。
6. iO Pro インストーラーを実行します。
7. iO Pro がドライバーをインストールするための許可を与えます（Windows ユーザーは ASIO ドライバーをインストールする必要があります。そうしないとデバイスは機能しません）。

ドキュメントは定期的に更新されます。必ず最新バージョンのクイックスタートガイドまたは iO Pro マニュアル（[iconproaudio.com](http://iconproaudio.com) ウェブサイトの製品ページで入手可能）の指示に従ってください。

iO Pro のインストールに関する完全な手順は、iO Pro マニュアルに記載されており、iCON のウェブサイトの製品ページ (<https://iconproaudio.com/>) で確認できます。また、iO Pro ソフトウェア内でも簡単に見つけることができ、HELP を選択し、その後 MANUAL を選ぶことで確認できます（もちろん、ソフトウェアをインストールするまではこれを行うことはできません！）。

iO Pro マニュアル / クイックスタートガイドの手順を読むことは重要ですが、インストールを開始する前に、デバイスが接続され、電源が入っていることを確認することをお勧めします。

Windows 用の ASIO ドライバは、iO Pro ソフトウェアのインストールが完了するとインストールされます。インストール中にコンピュータがインターフェースを「読み取る」ことができるよう、インストール中は電源を入れたままにしておくことが重要です。また、Mac ユーザーは、ループバックドライバが iO Pro を通じてインストールされることに注意してください。

もし、iO Pro（および Windows ユーザー向けの ASIO ドライバ）のインストールが正常に完了する前にプロセスを中断した場合は、iO Pro を完全にアンインストールし（プログラムファイルから削除されていることを確認）、インストールを最初からやり直すことをお勧めします（複数回のインストール試行に問題がある場合、この方法を試すと良いでしょう）。通常、iO Pro は既存のソフトウェアインスタンスの上に再インストールできます。

iCON iO Pro は、iCON プログラマーによる長年の研究と開発の成果であり、成熟した安定したインテリジェントなソフトウェアで、ユーザーが DAW を使用せずにプラグインをライブで使用できるだけでなく、柔軟なチャンネルルーティング、ダイレクトモニタリング、プラグインのサイドチェイニングなどをサポートします。これは、Windows および Mac ユーザーの両方にとって大きな利益となるでしょう。

**Windows ユーザー：iO Pro および ASIO ドライバをインストール**

**Mac ユーザー：iO Pro およびループバックドライバをインストール\***

\* 特別な手順は必要ありません - iO Pro が自動的にループバックドライバをインストールします

# iO Pro でのデバイス使用

iCON iO Pro を U44 と一緒に使用することは、デバイスの操作に必要です。ソフトウェアで行うアクションは、ディスプレイに表示され、デバイス自体で実行されます。

U44 を設定して、カラオケ / ライブパフォーマンスなどの目的に合わせて、変更が必要になるまでソフトウェアを再度開く必要はありません。つまり、「設定して忘れる」という使い方ができます。

逆に、U44 を使ってバンドの録音やポッドキャストの作成などを行う際に頻繁に変更を加えたいユーザーもいるでしょう。さらに、U44 は、物理的な制限があり、物理的なコントロールを調整することができない、または好まないユーザーにも適しており、タスクを達成するためにマウスやコンピュータのキーボードを使用する方が快適に感じる場合もあります。

各 iCON 対応デバイスには、それぞれ独自の iCON iO Pro バージョンがあります。下記に、U44 用の Windows 版 iO Pro ソフトウェアを示しています。ここでは、Windows 版 iO Pro のレイアウトを見ることができます。



ご覧の通り、「仮想チャンネル」が存在します (A) (Mac 版にはこれらは必要ないため存在しません - 詳細については iO Pro マニュアルをご参照ください)。左上隅には、調整可能な入力コントロールノブがあります。ライン入力である入力 3 と 4 (B) は、Mic/Line/Inst 入力 (1 および 2) に比べてオプションが少なくなっています。ボタン (例えば、'+48v') (D) を選択すると、ファントム電源が有効になります。INST (E) は、ライン、楽器、マイク入力を切り替えます。

「Monitor」ボタン (F) を押すと、「Monitor ウィンドウ」(G) が表示され、ヘッドフォンレベルなど、複数のモニタリングオプションを選択して調整できます。

ソフトウェアとその機能を完全に理解するために、iO Pro マニュアルをダウンロードしてお読みください。

# 仕様

U44 Technical Specifications	
<b>I/O</b>	
Microphone Inputs (XLR - balanced)	Two
High Impedance (Hi-Z) Instrument Inputs	Two
Analog Line Inputs	Four
Analog Monitor Outputs (DC coupled)	Three (two stereo headphones and one stereo master)
Digital Output Port	One (USB OTG)
<b>Audio to Digital Conversion</b>	
Dynamic Range	122dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-122dB, A-weighted
Total Harmonic Distortion + Noise	-116dB, -1dBFS
<b>Digital to Audio Conversion</b>	
Dynamic Range	127dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-127dB, A-weighted
Total Harmonic Distortion + Noise	-120dB, -1dBFS
<b>ANALOG I/O</b>	
<b>Mic Inputs (XLR balanced)</b>	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.3dB)
Minimum voltage gain	0dB (fader @ unity, -8dB pad)
Maximum voltage gain	62dB (fader @ unity, no pad)
Nominal input level	-16dBu through -66dBu (fader @ unity, no pad, @ +4dBu output)
Maximum input level	+16dBu (fader @ unity, -20dB pad)
Expected source impedance	150 to 2000 Ohms
Actual load impedance	1200 Ohms
<b>Instrument Inputs 1/2</b>	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.3dB)
Input Impedance	390K Ohms, typical
Maximum input level	+16.5dBu (fader @ unity, -20dB pad)
<b>Line Inputs 1/4</b>	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.3dB)
Maximum level	+24dBu
Nominal input level	+4dBu
Expected source impedance	20000 Ohms or less
Actual load impedance	10 kOhms
<b>Line Outputs 1/2 (6.35mm TRS, Unbalanced)</b>	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-0.3dB)
Maximum level	+24dBu
Nominal input level	+4dBu
Minimum load impedance	600 Ohms

Headphone Outputs: (Stereo, Unbalanced)	
Frequency Response	20Hz to 20kHz (+/-2.5dB)
Load Impedance	16 to 600 Ohms
Maximum Output Level	+18dBu, no load +18dBu, 600Ohms (7.94Vrms) +16dBu, 100 Ohms (6.3Vrms) +14.6dBu, 32 Ohms (5.4Vrms) +8.6dBu, 16 Ohms (2.7Vrms)
Dimensions and Weights	
Dimensions (WxDxH)	213mm x 198mm x 46mm 8.39" x 7.8" x 1.81"
Weight	0.87Kg

# サービス

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。

<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要です。お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

北米にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

North America  
Mixware, LLC – U.S. Distributor  
3086 W. POST RD.  
LAS VEGAS NV 89118  
Tel.: (818) 578 4030  
Contact: [www.mixware.net/help](http://www.mixware.net/help)

香港にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

ASIA OFFICE:  
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,  
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street,  
Fotan,  
Sha Tin, N.T., Hong Kong.  
Tel: (852) 2398 2286  
Fax: (852) 2789 3947  
Email: [info.asia@icon-global.com](mailto:info.asia@icon-global.com)

ヨーロッパにお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

Sound Service  
GmbH European  
Headquarter Moriz-Seeler-Straße  
3D-12489 Berlin  
Telephone: +49 (0)30 707 130-0  
Fax: +49 (0)30 707 130-189  
E-Mail: [info@sound-service.eu](mailto:info@sound-service.eu)



天猫官方旗舰店



天猫店艾肯旗舰店

抖音号



抖音iCON艾肯

哔哩哔哩



B站iCONProAudio

中国地区用户

微信公众号



微信号iCON-PRO

官方售后QQ



4006311312.114.qq.com

Twitter



[www.twitter.com/iconproaudio](http://www.twitter.com/iconproaudio)

Instagram



[www.instagram.com/iconproaudio](http://www.instagram.com/iconproaudio)

Facebook



[www.facebook.com/iconproaudio](http://www.facebook.com/iconproaudio)

Youtube



[www.youtube.com/iconproaudio](http://www.youtube.com/iconproaudio)

Website



[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

Support



[support.iconproaudio.com](http://support.iconproaudio.com)

Dashboard



[iconproaudio.com/dashboard/](http://iconproaudio.com/dashboard/)

[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)